

電力・ガス、値上げ相次ぐ

電力・ガス大手の多くが原料費調整（燃調）制度に基づき、12月の電気料金を引き上げる見通しだ。液化天然ガス（LNG）の輸入価格が上昇したことを反映し、LNG火力発電の比率が高い電力大手や都市ガスが値上げする。一部企業は値下げするが、小幅にとどまっている。今年初めに急激に進んだ燃料安の一服感が電力・ガス料金に出てき

12月料金

LNG輸入高騰で

た。

平均的なモデル使用量は各社によって異なるが、電力会社は多くが月間260キロワット時としている。

東京電力ホールディングス傘下の小売事業者、東京電力エナジーパートナーは前月比35円強高い6130円弱となる見通し。関西電力は20円弱高い6390円弱、中部電力は35円弱高い5875円強とみられる。